

【伝統文化と環境福祉の専門学校、佐渡保育専門学校 在学時貸与】

令和2年度 佐渡市奨学生募集要項

佐渡市教育委員会

佐渡市奨学金は、貸与により教育の機会均等を図り、本市の発展に資する有能な人材を育成するとともに、将来にわたる定住を促すことを目的としています。

1 応募資格

次のすべての要件を満たしている方が応募できます。

① 令和2年度に次のいずれかの学校に在学し、又は入学を許可されている。 「伝統文化と環境福祉の専門学校」、「佐渡保育専門学校」
② 本市に住所を有している、または令和2年4月の時点で本市に住所を有する予定である。

※ 生活保護受給世帯の方については、事前に社会福祉課援護係へご相談ください。

2 他の奨学金制度との併用

佐渡市医療技術者奨学資金貸与制度との併用はできませんが、日本学生支援機構や新潟県、その他民間の奨学金との併用は可能です。

3 貸与の金額と期間

(1) 奨学金は無利子です。下表の左欄の区分に応じ、右欄の年額から選択します。

ただし、奨学金のうち学費相当額を専門学校に支払いますので、学費相当額(授業料・設備費・維持費)以上の金額としてください。

区分	年額
入学年度	130万円、100万円、80万円、60万円
入学年度以外	100万円、80万円、60万円、40万円

(2) 奨学金の貸与期間は、在学する学校における最短修学期間とします。

(3) 高等学校において貸与を受けた方がその後大学等へ進学する際に貸与を受けることは可能です。(最長9年)

【例】 高校3年間+専修2年間+大学4年間

4 連帯保証人(2人必要です。)

1人目	保護者(本人が未成年の場合)	父母又はこれに代わる方(本人が成年の場合)
2人目	令和2年4月1日現在において、独立の生計を営む <u>(別世帯の)65歳未満の成年の方</u> (1人目が本市在住の場合は、2人目は本市以外に在住する方も可能。)	

※ 受給希望申出時に本市に住所がない方に限り、本市在住の連帯保証人を選定できない場合は、本市在住以外の方でも可能とします。

5 提出する書類

① 奨学金受給希望申出書(様式第1号)	連帯保証人記載欄を除き、申請者が記入する。
② 奨学金貸与計画書(様式第2号)	初回の貸与金額は書類提出後に変更できない。
③ 奨学金返還計画書(様式第3号)	
④ 世帯全員の「令和元年度」所得・課税・扶養証明書(市役所本庁・支所・行政サービスセンターで発行)	義務教育中の児童・生徒、所得のない学生分は不要。
⑤ 住所異動確約書	受給希望申出時に本市に住所がない方。

※ 応募多数の場合は経済的な支援が必要な方を優先して認定します。(別表「奨学生所得基準」(4ページ)を準用します。)

6 募集期間 令和元年11月1日(金)～令和2年1月31日(金) **必着**

7 提出先 佐渡市教育委員会 学校教育課 学事係

※ 提出書類の不備が多くなっていますので、十分に確認のうえ余裕を持って提出してください。期限間近に郵便等で送る場合は、事前に電話連絡をお願いします。

8 募集人数 予算の範囲内

9 選考結果の通知

令和2年2月末頃に選考結果を通知します。

応募多数の場合は経済的な支援が必要な方を優先して認定するため、認定されない場合があります。

10 貸与までの流れ

(1) 誓約書及び貸与申請書等の提出

奨学金受給予定者として認定された方は、期限(令和2年4月下旬頃)までに①から④までの書類を提出してください。(令和2年3月中旬頃、①から③までの書類を送付します。)

- ① 奨学金貸与申請書
- ② 誓約書…連帯保証人の実印の押印及び印鑑証明書の添付が必要。
- ③ 口座振替申込書…奨学金の振込先は、原則、奨学生本人名義の口座とする。
- ④ 在学証明書…令和2年4月1日以降に在学している学校が発行するもの。

(2) 貸与の決定及び通知

令和2年5月中旬までに貸与の決定について通知します。

その際、「奨学金受領委任払承認申請書」を同封しますので、必要事項を記入し、期限までに専門学校に提出してください。

(3) 奨学金の交付時期

奨学金は1年分をまとめて令和2年5月末日までに振り込みます。奨学金のうち、学費相当額を専門学校に、残額を本人口座に振り込みます。

11 貸与の終了

奨学生が次のいずれかに該当するときは、奨学金の貸与を終了します。

- ① 在学しなくなった(卒業、退学)とき。
- ② 奨学金の貸与を辞退したとき。
- ③ 奨学生として適当でないと市長が認めたとき。

12 返還について

(1) 返還時期と返還回数(年数)

通常、貸与が終了した1年経過後から返還開始となります。返還月は毎年7月と1月です。

返還計画は奨学金受給希望申出の際に受給希望者本人が作成します。

【返還回数(年数)】

1回あたりの返還額が60,000円以上の定額で、最長20年の範囲内で本人が計画する。

返還額定額は第1回目から第6回目までとそれ以降で変更することができる。

【返還例】

学校	貸与総額	返還年数	1回あたりの返還額
専修学校(専門課程)(3年)	3,300,000円	20年	82,500円

(2) 即時返還

奨学金を返還すべき日から2年を経過しても返還しないときは、奨学生であった方又はその連帯保証人に対して、返還すべき額の全額について即時返還を求める場合があります。

13 返還の猶予及び免除

(1) 返還の猶予

引き続き進学したときや傷病その他特別な理由により返還が困難なときは、申請により返還が猶予されます。

また、奨学金の返還が免除される(2)②アの要件に該当する期間も、申請により返還が猶予されます。

(2) 返還の免除

① 返還を完了する前に死亡したときや障がいを残す負傷又は疾病を負ったときであって、返還が困難であると認められるときは、申請後の返還額を免除されます。

② 貸与満了期にあつて次のいずれにも該当するときは、申請により全額を免除されます。また、既に返還した奨学金があるときは、還付されます。

ア 学校を卒業したとき又は奨学金の貸与が終了したときから10年の期間内に継続して5年間、本市に住所を有し、かつ、就労していること。

イ 奨学金の返還を怠っていないこと。

ウ 市税等を滞納していないこと。

※ 返還の猶予及び免除にかかる「就労」については、本人が定住の意思を持ち、かつ、就労先が本市での就労を約束する場合に限ります。

<お問い合わせ>

佐渡市教育委員会 学校教育課 学事係 担当:中川 優子

〒952-8501 新潟県佐渡市両津湊198番地 (佐渡島開発総合センター1階)

TEL 0259-58-7355 FAX 0259-58-7352 E-mail k-gakko@city.sado.niigata.jp